



森ボラ 通信

第123号 2012年8月20日発行 NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

トピックス

◆ 地剥ぎと地掻き

私たちの支笏湖国有林での最初の台風被害林復興活動はセブンイレブンで次は復興の森でした。これらはぶんぶんの森も含めほぼ指示通りの針葉樹苗を植えて指示通りの下刈りを行ってきました。これによって経験が深まり次にコンサ百年の森で「洞爺丸台風で倒れたエゾトド林に2004年台風が来てまた倒れた林にまた針葉樹を植えるのかよ」の議論が深まり石狩森林管理署と協議して広葉樹も植え植栽列もモザイク状として来ました。

次に「CGCの森」に移り、すでに発生の濃い斜面2haは機械地掻きをせず協会手作業による植栽列の補植と手刈りを進めています。次に今年から「CGC鳥柵舞の森」に入りもう台風から8年近くなり自然発生のシラカンバは背丈ほどにもなりつつあります。2011年暮れに森林管理局にこの取り扱いに注意を喚起しました。管理局も「支笏湖周辺風倒被害地における更新状況と今後の課題」の中で次のような判断されているようです。

「一方、ウラジロエゾイチゴの被度が3以下の箇所については、すでに相当量の更新がみられる箇所はそのままの状態です。十分更新可能と判断できますが、場合によっては人為的な更新作業により天然更新を行っていく必要があると考えます。なお、土場跡地など更新不良な箇所については、被度3以下の箇所であっても植栽の必要性はあると考えます。」

これをもとに「鳥柵舞の森」の特に発生の濃い場所3haを協会独自の管理地にすることに合意を得ましたので皆さんの意見を集約して行きたいと考えています。穴地の補植のほか発生幼樹の密度管理方法をどうすべきか検討中です。また以前の植栽列の地存は「地剥ぎ」して自然発生列と植栽列の間に肥料列を作っていました。現在伐根等は外に出すもA0（エーゼロ層、リター層）は残し15センチの深さにレーキで鋤きこむ方式にしています。

2012年3月、各森林ボランティアの会合で林野OBの方から「自然発生列として残した列に意外と木が生えてこない。ボランティアの方をお願いして種でも蒔いたらどうでしょう」と提案されました。是非検討したいと思います。（文・酒井）



◆ 真夏の納涼会 8月7日（大通りキリンヨロコビガーデン・参加者14名）

今年も大通りビールガーデンで15:30頃から14名の方が参加されて開催されました。大通りに着いた頃には既に半分以上の席が埋まり短い札幌の夏を楽しんでいました。

今回はキリンビールさんより今年新発売された一番搾りフローズン〈生〉のクーポン券を多数頂きましたがあつという間に飲み干して当協会の凄さを再認識しました。

フローズン〈生〉は凍らせた泡で蓋をして30分は融けないと言う代物、皆さん初めてなので2~3杯飲んだ位では評価は難しいみたい。

酔いも少し廻ってきたがまだまだ飲み足らずタワー型の容器でビールを追加、追加さらに追加、“よくのむわ”。話も尽きる頃、腰をあげだして解散となるころには薄暗くなっていました。

冬の忘年会もいいですが夏のビールガーデンもなかなか良いもんですね！（文・大窪）



■ 現場より

◆活動報告(澄川・7月31日~8月1日)

北ガス・さぽーとほっと基金

「間伐材を集めて炭を焼き配る」

7月初旬から北ガス助成にて購入のエンジン式ウインチを使って間伐材を集め33cmに玉切りマキ割りした材を移動式炭化炉に充填しておいた。31日朝8:00に着火し夜11:00まで1時間ごとに煙突をローテーションしながら炭焼きを行いました。蒸し暑い夜で環境林保存地のホテルの盛大な乱舞が見られたが野営の翌朝は雨となり朝食もなしの解散となってしまった。（文 酒井）



◆オイスカ「山・林・SUN・体験 子供の森」の草刈り指導(6月16日(土))

6月16日(土)草刈(第1回)が実施された。

北電本社前から送迎バスにて8:00出発、途中新札幌、大麻で数人収容し、現地集合者と合わせて参加者は38名(森ボラ6名、幼児2名、大学生3名、他27名)となった。車内では各グループの紹介があり、それぞれ本日の抱負が語られた。森ボラの酒井会員から草刈りについて、高野会員から野外活動について語った。

酒井：苗木の下草刈りの意義について・・・

- ①苗木周辺の草に覆われ「蒸れ」が起きる。この蒸れは苗木を弱らせる。
- ②日光を当てることにより、苗木の光合成を促進し成長が図られる。

高野：野外活動の注意点・・・

- ①「大反魂草」の駆除を強調。大反魂草は、特定外来生物に指定されていて繁殖力が強いので、間違っても家庭では栽培しない事。
- ②害虫(蚊、蚋)対策として防虫ネットの着用、防虫スプレーの噴霧が有効であること。

10:00 主催者挨拶の後本日の作業説明があり、機械班(刈払機)と手刈班に分かれて下草刈りを開始した。手刈班では初心者向けに酒井会員より意義なども含めた示範により草刈りが開始された。大学生に鎌を使用したことがあるのか気になっていたもので、聞いてみるとバイトなどで使用したことがあると言って危なげなく草を刈っていた。まったくの杞憂であったか。育児ならぬ育樹(苗

木) は手間をかけないと雑草に負けて枯死することがある。苗木が周囲の草丈を越すまで見守る必要がある。「八重葎茂れる原のオイスカに 草刈り人は集ひたり」

14:30 予定されていた草刈りが終了した。用意されていた西瓜を全員で食した後、終わりの会を催して帰路についた。(文・小笠原)

■ ひとこま

◆今年も「森は海の恋人植樹祭」に参加 (6/3・その2)

海岸林再生に向けて動き出す現地

6月4日この日は午前中に昨年も訪れた陸前高田を訪問、道路だけは整備されたがまだまだ復興には程遠い。7万本あった松原の中で1本だけ残され有名になった「1本まつ」も地盤沈下による海水の影響で枯れかかり、救いようが無いとのことであるが、どの様な形で残すのか現在検討されている。昨年は海岸に折れて横たわっていた松は殆んど片付けられて海岸線には切り石の臨時?の防



波堤が積上げられていた。松原のあった地域は地盤沈下で水が溜まっており、今後、ここをどの様に活用していくのか? またこの市街地の背後は山であり、どの様な街づくりを行うのが良いのか? これまた非常に難しい問題である。

午後は東北道を南下し、仙台南部道路を經由して仙台空港インターで海岸エリアに入った。今回のもう一つの目的地、宮脇横浜国大名誉教授が提唱した「がれきを活用した盛り土に植林して“森の防潮堤”を構築する」プロジェクトの試験地の確認である。ここもまさに津波に飲み込まれた地域であり海岸線

には残された松の林がぽつぽつと見ることが出来る。現地には看板が建てられており『千年希望の丘』プロジェクト実証実験と書かれ、植樹は5月26日と書かれているので、植樹されてまだ10日も経っていない。古墳の様な丘を作り苗木を植え、藁を敷詰めて縄をかけてある。植えられた樹種は照葉樹である。

次にオイスカが始めた海岸林再生の為の松の苗づくりの現地を訪れた。プレハブ小屋が2個建てられており、中にオイスカの現場責任者の佐々木廣一さんがおられ、事情を話したところ快く案内してくれることになった。

ここ第一育苗場では抵抗性クロマツの1年ものを1列と、2.0 Kgの種を入手し、ここ第一育苗場ではこの4月に1.5 Kgの抵抗性クロマツと普通クロマツの種を播いたのが漸く芽が出てきたとのこと、可愛らしい苗が3列のビニールの覆いの中で育っていた。ここ名取市海岸林再生の会としてはあくまでも伊達政宗以来400年に渡り育成・保護されてきたクロマツの海岸林を再生しようというもので、江戸時代には藩の所有であったのが明治政府により国の管理となり、その後払い下げ等により海側から幅100mずつの国有林、県有林、市有林の計300m幅の海岸林があったのでそれらの再生をするのが目標とのこと。



海岸林再生の動きも漸く始まったばかりであり、数十年数百年の年月が必要な活動である。これらの活動を如何にして継続的に繋いでいく事が出来るのかが大きな課題である。私共も何らかの形で支援できないものか考えてみる必要がある。(文・荻田)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・酒井・佐野・高野・津金・釣井・西野(榎)・矢澤・和田

審議および決定事項

- 1 24年9月、10月スケジュール・・・9月幹事会9月7日(金)
- 2 10周年記念行事経過報告・・・75名に招待状送付
- 3 記念誌編集状況・・・印刷業者(株)アイワード
- 4 ぶんぶんの森地持えの変更点
- 5 北海道CGCの森下草刈り(8/9・10、8/23・24)・・・23日枯死苗の補植(660本)
- 6 その他 ローソン緑の募金看板設置・・・8月22日

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
7月13日(金)	澄川	14	林内整備、薪炭材準備
7月17日(火)	澄川	8	林内整備、薪炭材準備
7月18日(水)	リンゴ園	3	摘果
7月19日(木)	澄川	12	林内整備、薪炭材準備
7月20日(金)	リンゴ園	0	摘果終了で作業中止
7月21日(土)	青山当別	7	下草刈り
7月23日(月)	当別白樺センター	1	ステップ・アップ研修
7月24日(火)	リンゴ園/ぶんぶんの森	0/1	摘果終了で作業中止/地持え調査
7月25日(水)	澄川	13	林内整備、薪炭材準備
7月26日(木)	リンゴ園	0	摘果終了で作業中止
7月27日(金)	リンゴ園/烏柵舞の森	0/1	摘果終了で作業中止/植栽調査
7月28日(土)	澄川	13	林内整備、薪炭材準備
7月31日(火)	澄川	14	炭焼き・ホテル観賞会
8月1日(水)	澄川	6	炭取り出し作業(雨で延期)
8月3日(金)	澄川	10	林内整備・CGCの森補植準備
8月7日(火)	ラルズビル/大通り公園	12/13	定例幹事会/納涼会
8月8日(水)	澄川	2	看板作成作業
8月9日(水)	支笏湖CGCの森	16	下草刈り
8月10日(金)	支笏湖CGCの森	15	下草刈り

■ お知らせ

『創立10周年記念行事』の参加確認

5月号でお知らせした行事予定日は都合により、下記に変更になりました。会員、ご家族の皆様多数の参加をお願いします。

記

日時：平成24年10月7日(日) 10時00分～14時00分 小雨決行
(台風などの場合は10月8日(月、祭日)に順延し、電話等にて連絡します)

場所：札幌市南区澄川都市環境林

内容：式典、展示、林内散策、体験(植樹、キノコ狩り、まき割りなど)

予定：散策・植樹(10:15～11:15)、式典(11:30～12:00)、実演(13:00～13:30)

昼食：弁当、キノコ汁、お茶(水)

配布：記念誌、記念品ほか多数(炭、乾燥シイタケ、木工品など)

参加費：無料

駐車場：豊平清掃事務所駐車場を利用。(10月7日のみ)

※ なお、準備の都合により8月30日までに「9月 作業参加申込書」の10周年記念事業参加希望確認欄に
出欠を記載し、提出願います。